青色LEDが暮らしを変える

樟蔭学園は創立100周年
100th Anniversary in 2017

2014年ノーベル物理学賞受賞者

カリフォルニア大学サンタバーバラ校

中村修二 教授 講演会

Shuji Nakamura
Professor of Materials and ECE Department
Research Director, Solid State Lighting and Energy Electronics Center
University of California, Santa Barbara

入場無料 参加申し込みが必要となります。［お申し込みは裏面へ］

© Shintaro Shiratori

［テーマ］

青色発光ダイオードの発明と生活への応用

中村先生が、発明された青色発光ダイオードは、明かりとしてその利用が社会に広がっています。この講演会では、明かり以外にファッションや食品など生活のさまざまな分野に応用される青色発光ダイオードの未来について語ります。

2015.11.21（土）

14:00-15:00 ［会場］翔空館10F

学校法人
樟蔭学園

大阪樟蔭女子大学／大学院　樟蔭高等学校
樟蔭中学校　大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

http://www.osaka-shoin.ac.jp

カリフォルニア大学サンタバーバラ校　中村修二教授

1954年5月22日愛媛県瀬戸町（現在の伊方町）生まれ。1977年、徳島大学工学部卒、1979年徳島大学修士課程を修了後、日亜化学工業入社。1994年、同社に勤務するかたわら、徳島大博士課程を修了。工学博士。日亜化学工業入社後の10年間は、赤外、赤色LEDの開発に携わる。1988年、1年間フロリダ大学に客員研究員として渡米。1989年、帰国後、4月から青色発光ダイオードの研究を開始した。1993年・1995年、世界で初めてインジュームガリューム窒素（InGaN）ダブルヘテロ構造高輝度青、緑色LEDをそれぞれ、開発、製品化した。1996年、InGaNダブルヘテロ構造を用いて、世界で初めて青紫色半導体レーザーの発振にも成功。InGaN系発光デバイスの発明は、過去30年間の半導体材料研究における分野で、最も重要な発明の一つとされている。現在、200件以上の米国特許と300件以上の日本特許を所有。これまでに550件以上の科学論文を執筆。1999年、日亜化学工業退社後、2000年からカリフォルニア大学サンタバーバラ校材料物性と電気コンピューター工学部の教授に就任。同大学では、固体発光エネルギー電子デバイスセンター（SSLEEC）の所長と、クリー（Cree）チエアーも兼ねている。

【主な受賞歴】●1996年、日経BP技術賞　仁科記念賞●2001年、朝日賞●2008年、応用物理学会論文賞●2011年、第63回エミー賞技術開発部門、米国●2014年　ノーベル物理学賞　文化勲章、文化功労者●2015年、応用物理学会　名誉会員

中村修二教授 講演会　お申し込み方法

●申し込み締切　11月10日（火）※消印有効　［先着順］

●メールでのお申し込み

100th@osaka-shoin.ac.jp

①住所②氏名（フリガナ）③年齢④性別⑤電話番号⑥FAX番号またはメールアドレスをご記入のうえ、
下記の100周年記念事業本部までお申し込みください。

●FAXでのお申し込み

FAX:06-6723-8263

※FAXで送信される場合は切り取らずに本用紙のままFAXしてください。
※ご記入いただきました個人情報は、本校からの情報提供のみに使用します。

①住所	〒	③年齢	歳	④性別	男　女
		⑤電話番号	(　　)　　-		
フリガナ ②氏名		⑥FAX番号 または E-mail	(　　)　　-		
			@		

【お問い合わせ】

100周年記念事業本部
電話:06-6723-8152（直）
メール:100th@osaka-shoin.ac.jp
〒577−8550 東大阪市菱屋西4-2-26

［アクセス］
- 「大阪難波」駅から近鉄奈良線「河内小阪」駅まで12分。「河内小阪」駅下車、西へ徒歩4分。
- JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車、東へ徒歩5分。

※駐車スペースがございませんので、お車でのご来場はお控えください。

樟蔭百年